

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田SIAビル3階
Tel: 03-5286-6123(代表) Fax: 03-5286-6124
E-mail: office@tokyo.msf.org

www.msf.or.jp

活動報告書

2013年 1月→12月



特定非営利活動法人
国境なき医師団日本



Activity Report 2013

January-December 2013
Médecins Sans Frontières Japan



国境なき医師団とは

医療援助を第一に

国境なき医師団(MSF)は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。危機に瀕した人びとへの緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとするスタッフが、世界約70カ国で援助活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

独立・中立・公平

MSFは誰からも干渉や制限を受けることなく、助けを必要としている人びとの元へ向かい、人種や政治、宗教にかかわらず、分け隔てなく援助を届けます。

世論に訴える

援助活動の現場では、虐殺や強制移住など激しい人権侵害を目撃することもあります。MSFはそのようなとき、医療だけでは人びとの命を救うことができない現状を国際社会に証言します。

Contents

国境なき医師団憲章/10の原則	4
The Charter of MSF/10 Principles of MSF	
MSF日本 2013	6
会長・事務局長からの挨拶	8
Message from the President & the General Director	
海外派遣実績	10
Field Staff Sent by MSF Japan	
派遣地からの声	12
Voice from the Field	
資金援助対象国	14
Countries Funded by MSF Japan	
援助国からの声	16
Voice from the Field	
財務ハイライト	18
Financial Highlights	
財務報告	20
Financial Report	
事務局の活動から	32
Updates from the Office	
MSFワールドワイド 2012	33
活動地とネットワーク	34
MSF Activity Map & Network	
数字で見るMSFの活動	36
MSF Facts & Figures	
謝辞	38
Acknowledgements	



南スーダン

分離独立後の混乱は2013年も続いた。北から空爆被害を逃れて国境を越えてきたスーダン難民が暮らすキャンプではE型肝炎が流行。MSFは専門病棟テントを設置して治療に当たった。

国境なき医師団憲章

The Charter of MSF

国境なき医師団は
苦境にある人びと、天災、人災、武力紛争の被災者に対し
人種、宗教、信条、政治的な関わりを超えて
差別することなく援助を提供する。

国境なき医師団は
普遍的な「医の倫理」と人道援助の名の下に
中立性と不偏性を遵守し、完全かつ妨げられることのない
自由をもって任務を遂行する。

国境なき医師団のボランティアは
その職業倫理を尊び
すべての政治的、経済的、宗教的権力から
完全な独立性を保つ。

国境なき医師団のボランティアは
その任務の危険を認識し
国境なき医師団が提供できる以外には
自ら対していかなる補償も求めない。

Médecins Sans Frontières provides assistance to populations in distress, to victims of natural or man-made disasters and to victims of armed conflict. They do so irrespective of race, religion, creed or political convictions.

Médecins Sans Frontières observes neutrality and impartiality in the name of universal medical ethics and the right to humanitarian assistance and claims full and unhindered freedom in the exercise of its functions.

Members undertake to respect their professional code of ethics and to maintain complete independence from all political, economic, or religious powers.

As volunteers, members understand the risks and dangers of the missions they carry out and make no claim for themselves or their assigns for any form of compensation other than that which the association might be able to afford them.

10の原則

10 Principles of MSF

- | | |
|---|--|
| 1. 第一に医療援助活動
Medical Action First | 6. 公平性
A Founding Principle: Impartiality |
| 2. 証言活動
Temoignage(Witnessing): An Integral Complement | 7. 中立性の精神
A Spirit of Neutrality |
| 3. 医療倫理の遵守
Respect for Medical Ethics | 8. 義務と透明性
Accountability and Transparency |
| 4. 人権の擁護
Defense of Human Rights | 9. 自発的に参加する
現地活動スタッフからなる組織
An Organization of Volunteers |
| 5. 独立性への配慮
Concern for Independence | 10. 同じ目的の下に集ったメンバーが
運営する非営利の組織
Operating as an Association |



中央アフリカ共和国

多数の武装勢力が争い、医療制度が機能していない「静かな危機」が続いてきたこの国で、2012年末から反政府勢力が蜂起し戦火が拡大。人道危機の状況はさらに悪化し、MSFは活動拡充に努めた。



治安が極度に悪化する中、MSFが活動を続けるカルノーの病院で、栄養失調病棟を回診する医師。

© Jacob Zocherman

MSF日本

2013年の 活動実績と財務



フィリピン

2013年11月に超大型台風30号が直撃して甚大な被害を及ぼす。島しょ間の交通も寸断され、援助が届きにくい状況が続く中、MSFは物資と医療の両面で大規模に緊急援助を展開した。



2013年、国境なき医師団は多くの達成した一方で、大きな困難にも直面しました。

シリア内戦により多数の命が奪われ、数百万人が難民となる中、国境なき医師団(MSF)はシリア内外で継続して援助を提供しています。2013年、現地の情勢は目まぐるしく変化し複雑化しましたが、MSFは国の北部で6ヵ所の病院を運営し、多くの国内医療施設にも物資を提供しました。

人命を奪っているのは、爆弾や銃弾だけではありません。国内の医療供給体制が崩壊に追い込まれるにつれ、慢性疾患者は生きるために必要な医薬品入手することができなくなっています。

MSF日本会長の黒崎は4月に外科医としてシリアに派遣され、内戦の壊滅的な影響を目の当たりにしました。約1ヵ月の派遣期間中は1日10件もの手術を執刀し、燃料の質悪化に伴う事故で重度の熱傷を負った患者から、爆撃で手足を失った子どもたちまで、多くの外傷患者の治療に当たりました。比較的安全な日本ではシリア国民の窮状は想像しにくいかもしれません。しかし、いまだ膨大なニーズがあることは患者やシリア人スタッフの話からも明白であり、MSFは、この流血の抗争に巻き込まれている人びとに対する援助を可能な限り継続する必要があると考えています。

シリア国内活動と、イラク、ヨルダン、レバノンなどに滞在するシリア人難民への援助活動は、多額の活動費を必要とします。こうした活動を可能にしているのは、皆さまのご支援なのです。

また2013年の特筆すべき出来事としては、7月にソマリアで、21ヵ月間監禁状態にあったモンツェラット・セーラとブランカ・ティエボーが解放されたことが挙げられます。しかし、ソマリアの治安状況はその後も悪化し、MSFは22年にわたる活動を打ち切り、撤退を余儀なくされました。

一方、MSFは人的・財政的資源の多くを中央アフリカ共和国での活動に投入。同国は、もともと健康水準が世界でも最も低い国一つでしたが、2013年に暴力や紛争が激化して、人びとの置かれる状況はいっそう深刻になっています。

年末には超大型の台風30号がフィリピンを直撃し、MSFは皆さまからのご支援に支えられて大規模な活動を展開しました。

2013年、MSF日本に寄せられた資金が過去最高額を記録したことは、助けを必要としている人びとを支え続けたいと願う日本人の人びとの思いの表れといえるでしょう。日頃より支援を頂いている皆さまに深く感謝申し上げますとともに、2014年も世界各地で命をつなぐ援助活動に当たるMSFに引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



© Peter Casier/MSF
2013年8月、スタッフの安全確保が困難なためソマリア撤退という苦渋の決断を発表。



© Michael Goldfarb/MSF
シリア内戦の被害を受け、外科のほか慢性疾患治療や、国外に逃れた難民の援助も続ける。



© Yanin Libessart/MSF
超大型台風に襲われたフィリピンでの緊急援助には、多くの支援が寄せられた。



© Caroline Scholtes/MSF
混亂が続く南スダーンでは、民族対立の激化で避難した人びとの援助にも努める。

For both MSF Japan and the wider MSF movement, 2013 was a year marked with significant achievements, and considerable challenges.

As the conflict in Syria continued to claim lives and displace millions of people, MSF provided vital assistance to populations both inside and outside the country. Despite a fast-changing and complex situation throughout 2013, MSF managed to operate six hospitals in the northern part of the country. We also continued to supply dozens of health facilities inside the country.

Throughout the year, it was not just bombs and bullets which were the major cause of mortality. As the war increasingly destroyed the health system, people with chronic diseases were unable to access the medicines which were essential to their survival.

In April, Dr. Kurosaki, President of MSF Japan, went to work as a surgeon in Syria with MSF and saw firsthand the devastating effects of the conflict. For approximately one month, she performed as many as 10 operations per day on those who had been badly burned from the use of poor quality fuel in their homes as well as children who lost limbs in attacks. It can be difficult from the relative comfort of Japan to imagine the deep suffering of civilians in Syria, but talking to patients and our Syrian colleagues, it is clear that the needs remain massive and we should continue to try as much as we can to help those trapped in this long-running and bloody conflict.

The scale of our activities in Syria, as well as assisting displaced Syrians in countries such as Iraq, Jordan and Lebanon has resulted in massive expenditures, and your generous assistance has been essential in meeting these costs.

A significant milestone to note in 2013 was the release of our two colleagues Montserrat Serra and Blanca Thiebaut who were released in Somalia in July after 21 months in captivity. Regrettably, security conditions continued to deteriorate in Somalia, leading us to withdraw all our activities from the country after working there for 22 years.

Significant MSF human and financial resources were focused on the Central African Republic, a country which had some of the worst health indicators in the world even before the violence and unrest that flared in 2013.

Towards the end of the year, Super Typhoon 30 slammed into the Philippines, prompting a massive response by MSF, and very significant generosity by our donors in Japan.

2013 was the most successful year ever in Japan, in terms of fundraising, showing that the Japanese people are clearly dedicated to helping those who need it most. In 2014, we respectfully ask that you continue to assist in our global life-saving activities around the world.



国境なき医師団日本
事務局長
(2013年8月～)
ジェレミイ・ボダン

Jérémie Bodin
General Director
Médecins Sans Frontières Japan
(August 2013)

© Ayako Hachisu



国境なき医師団日本
会長
(2010年3月～)
黒崎 伸子

Nobuko Kurosaki MD
President
Médecins Sans Frontières Japan
(March 2010)

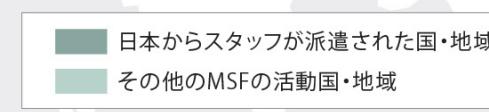
© Toshiya Abe

Nobuko Kurosaki

MSF日本から派遣された71人が24の国・地域で援助活動を行いました

2013年、国境なき医師団(MSF)日本からは計71人のスタッフが、延べ96回、24の国・地域に派遣され、援助活動を行いました。

※リストは2013年に現地で活動を開始した人が対象。



スー丹難民のキャンプで栄養失調児を治療
[南スー丹/内科医]



紛争地域で現地の医療施設を支援
[コンゴ民主共和国/医療チームリーダー]

レバノン

ジョン・サンフン(内科医)

パレスチナ

リー・ヒヨン(麻酔科医)

キム・アジン(人事コーディネーター)

スー丹

品田 裕子(看護師)

南スー丹

村上 千佳(助産師)

キム・ウニョン(内科医)

京寛 美智子(医療チームリーダー/看護師)

リー・ヤンスー(看護師)※同国2回

小林 さより(内科医)

辻坂 文子(人事コーディネーター)

上平 明美(医療チームリーダー/看護師)

鬼頭 佳代(手術室看護師)

畠井 智行(看護師)

森田 光義(内科医)

上西 里菜子(IEC)

西山 聰子(アドミニストレーター)

的場 紅実(薬剤師)

大瀧 潤子(手術室看護師)

ハイチ

村上 千佳(助産師)

ナイジェリア

竹中 裕(産婦人科医)

クォン・ジェオン(麻酔科医)

ウガンダ

神脇 英治(ロジスティシャン)

松本 卓朗(電気技師)

コンゴ民主共和国

ジュン・ユイ(産婦人科医)

田村 美里(医療チームリーダー/助産師)

落合 厚彦(ロジスティシャン)

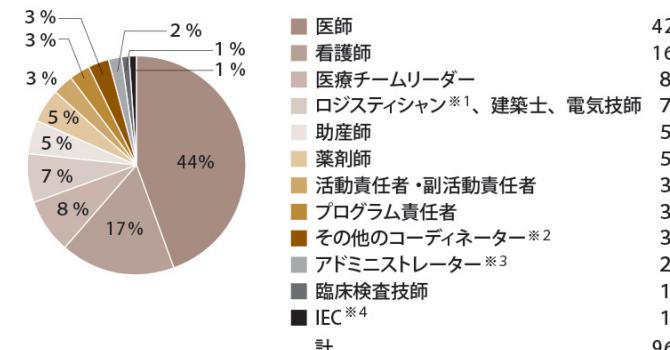
井田 覚(副活動責任者)

辻坂 文子(プログラム責任者)

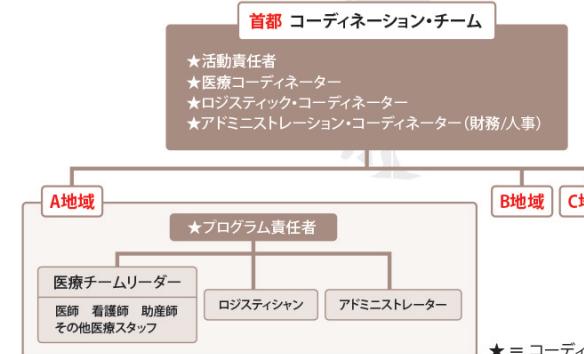
ジンバブエ

チエ・チョンユン(薬剤師)

MSF日本 派遣回数 職種別割合



MSF 現地活動組織図



★ = コーディネーター職

MSF日本 派遣者出身地 (都道府県)

東京	8人	埼玉	2人	長野	1人	徳島	1人
愛知	5人	福井	2人	岐阜	1人	広島	1人
神奈川	4人	兵庫	2人	三重	1人	海外/その他	26人
大阪	4人	福岡	2人	京都	1人	計	71人
長崎	4人	岩手	1人	鳥取	1人		
北海道	2人	千葉	1人	島根	1人		

*1 ロジスティシャン=物資調達、施設・機材・車両管理等、状況に応じて医療・財務・人事以外の業務全般を担当。

*2 活動責任者・副活動責任者およびプログラム責任者以外のコーディネーター職。

*3 アドミニストレーター=現地活動の財務・会計・人事管理を担当。

*4 IEC = Information Education Communication。コミュニティ内の健康教育・啓発活動を担当。



保健省による多剝耐性結核対策を支援
[アルメニア/内科医]



紛争地域の外傷治療センターで負傷者を治療
[アフガニスタン/外科医]



コーディネーション・チームでロジ面を指揮
[パキスタン/ロジスティック・コーディネーター]



現地の助産師にトレーニング等の支援
[ラオス/助産師]



台風被災地援助に当たる現地活動チームを指揮
[フィリピン/プログラム責任者]

海外派遣スタッフを募集しています。

MSF日本では、世界各地で活動を行う医療従事者(医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士)およびロジスティシャン、アドミニストレーターなどを常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

E-mail: recruit@tokyo.msf.org
www.msf.or.jp/work

どんなに困難でも 医療人道援助を届ける

内戦が始まって2年が過ぎたシリアでは、いまもなお人びとの苦難が続いています。死者数が2013年に10万人を超え、医療従事者さえも危険にさらされる情勢下で、安全確保に努めつつ最大限の活動展開を模索、1年間にわたって活動全体の指揮に当たった村田慎二郎氏がシリアでの活動を報告します。

村田 慎二郎(活動責任者/シリア)

内戦の被害が深刻なアレッポ県に入ることを目指し、計画を2012年5月から段階的に進め、MSFとしてはシリア国内で2つ目となる病院を同年11月に新設しました。この病院には外科のほか、現地で絶対的に不足していた産科と一般内科も設けました。すぐに妊婦や子どもの患者がたくさん訪れ、負傷した市民の救急患者もアレッポ北部の30以上の村々から搬送されるようになりました。翌年3月、この地域で発生したはしかにも、集団予防接種などを実施して対応しました。

いまでも忘れないのは、すぐ近くの町の市場が空爆され、120人以上が死傷したことです。夕方の1時間ほどの中に25人の負傷者が救急車で次々と運ばれてきて、病院は騒然としました。たくさんの命がなくなった同日の静かな夜、

同じ病院で今度は6人の赤ちゃん、新しい命が生まれました。疲れ果てていた私に、シリア人スタッフたちが「私たちのやっていることは間違いない」と言ってくれました。彼らの多くも内戦で家族や友人を失っているのですが、医療という仕事に対する彼らの真摯な態度に、私は何度も勇気づけられました。

激化した砲撃のために、病院の一時閉鎖を余儀なくされたこともありました。病院を取り囲むバリケードを建設し、何とか活動を再開できましたが、このようにシリアでは、状況把握とチームの安全対策に最も神経を使いました。よりニーズが深刻な地域にもう一つ病院を設立する計画を立て、下準備を終えたところで、私の1年間の任務は終了しました。

2012年6月から2013年10月までに、MSFはシリア国内の6つの病院と2つの診療所などで、計4889件の外科手術、

1516件の出産、4万52件の緊急外来、6万2776件の一般外来、そして7万5000人の子どもたちへのしかのワクチン供与を行いました。膨大な医療ニーズに比べると大海の一滴にすぎませんが、絶望の淵に立たされた人びとに医療・人道援助を届けるため、どんなに困難な状況でもMSFはこれからも最大限の努力をしていきます。



© MSF



シリア

2011年から内戦の激化が続き、2013年までに10万人以上が死亡、200万人以上が国外に逃れたと見られる。MSFは2012年6月からシリア内で医療活動を展開し、またイラク、ヨルダン、レバノンなどで難民援助に当たる。



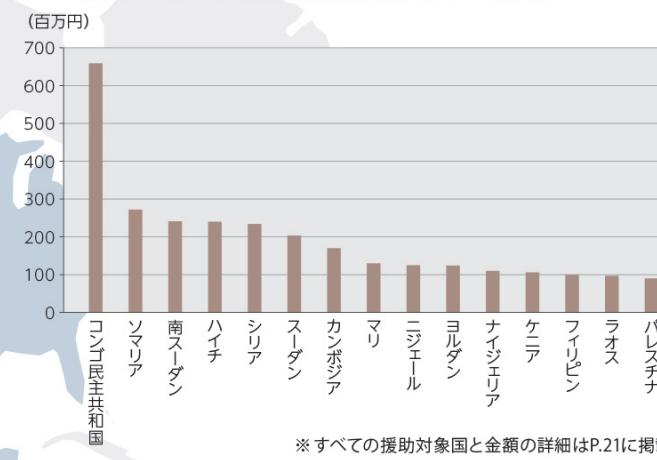
アレッポに設置した病院で、救急患者の治療に当たるMSFの医療チーム。

© MSF/Anna Surinyach

MSF日本から、29の国・地域での活動に資金援助を行いました

2013年、国境なき医師団(MSF)日本に寄せられた資金は、紛争や貧困により危機にさらされた人びとに医療・人道援助を届けるため、プログラムを運営するオペレーション事務局を通じて、29の国と地域での活動に充てられました。

MSF日本による国別援助実績(上位15ヵ国)

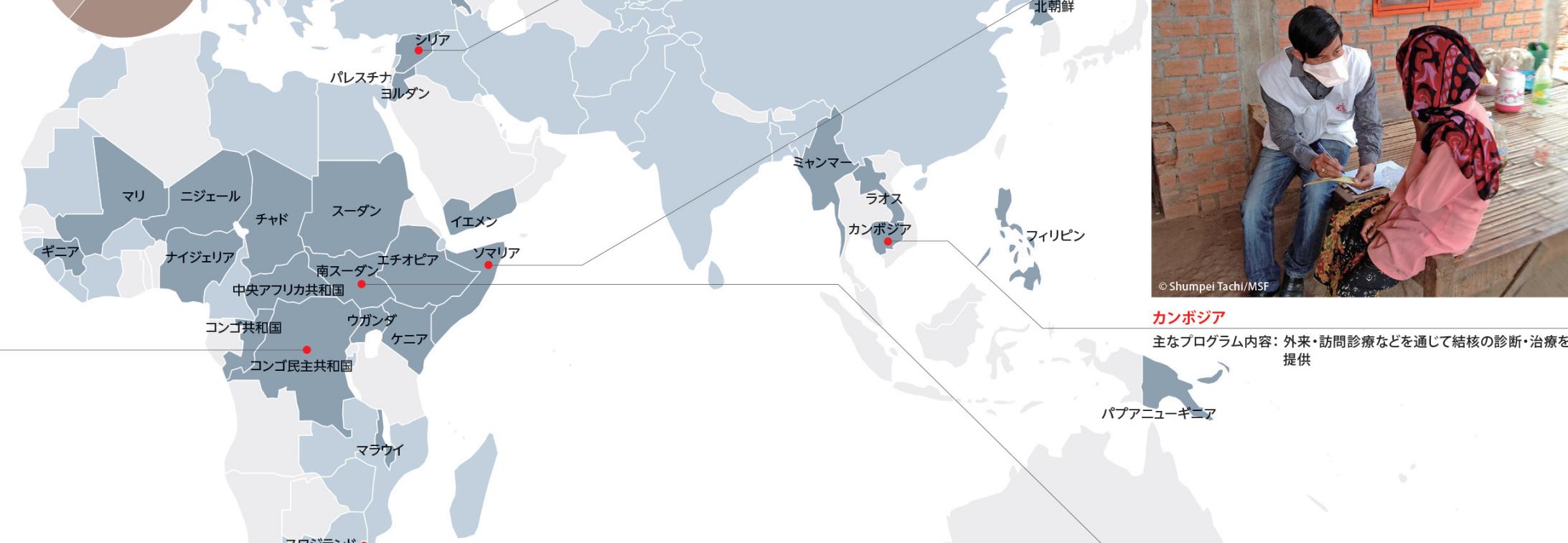
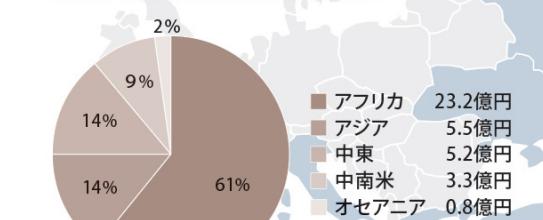


ハイチ

主なプログラム内容：やけどなど外傷治療をはじめとする外科診療、産科、救急医療、コレラ流行への対応など



活動地域別実績および割合



コンゴ民主共和国

主なプログラム内容：国内避難民援助、紛争地域での移動診療、性暴力治療、産科ケア、はしか対策など



シリア
主なプログラム内容：内戦による負傷者治療のほか、不足する専門外科治療、産科、一般内科、予防接種など



ソマリア
主なプログラム内容：内戦による国内避難民キャンプでの援助、栄養治療や予防接種、外科治療など



カンボジア
主なプログラム内容：外来・訪問診療などを通じて結核の診断・治療を提供

スワジランド

「子どもたちをHIVから守れ」 特設サイト(www.msf.or.jp/swaziland2013) HIV母子感染予防の新しい対策導入を紹介する特設サイトを公開中。アニメーションやビデオ、写真で、活動内容を分かりやすく解説しています。



国境なき“虫”団に挑戦 熱帯雨林の村を巡るチーム

コンゴ民主共和国(以下、「コンゴ」)の北東部では、戦闘に分断され孤立する村落で昏睡などの神経症状から死に至る寄生虫症、アフリカ睡眠病が脅威になっています。森林に分け入り、この顧みられない病気の対策に取り組む移動診療チームに参加した検査技師がその挑戦を伝えます。

バリー・ルーニー(コンゴ民主共和国/検査技師)

アフリカ中央部を覆う広大な熱帯雨林。土壤は肥沃で気候は穏やか。しかし、湿気を好むツェツエバエが、アフリカ睡眠病を引き起こす寄生原虫を媒介するのです。国境が森を縦横に走り、反政府勢力、紛争、軍隊、やむなく避難する人びとの移動を促します。寄生原虫はハエや人と共に喜んで国境を越え、新たな感染を広げていくのです。

コンゴは、現在の世界の睡眠病症例の3分の2以上が確認されている国です。森の中の村落は、たどり着くのも大変で、病院などないことも多いのです。私の所属する移動診療チームが向かった地で、睡眠病が確認されたのは2009年。その後、治安が悪化し、訪問は危険だと考えられてきた地域ですが、MSFは古い病院と修道院を修復し、検査拠点を

整えました。睡眠病の診断は複雑で、熟練スタッフ、電動機器、冷蔵庫が必要です。ジープは雨期には沢を渡れなくなり、バイクと地元ドライバーが頼ります。集団検診を行う村への到着予定は早朝7時。感染拡大を防ぐには住民の80%以上を検査しなければなりません。

途中で、地元の人に呼び止められ、病気で動けない人の診察を頼られます。MSFは睡眠病以外の急患にも対応します。5月の満月の晩もそうでした。午前4時に起床。2歳のジェレミーくんが重症マラリアで搬送されてくる予定でした。私は護衛に伴われ、蛇をよけつつ林道を抜け、施設に向かいました。検査室を開け、発電機を始動。検査の結果、ジェレミーくんのおじが輸血の提供者に最適だと判明しました。小さなジェレミーくんは辛そうに息をし、母親に抱かれています。静脈を探す時間が長く感じられます。ようやく、輸

血がカテールから腕へとゆっくり入っていました。午前6時、達成感を抱きつつ、チームは集団検診に出発する準備を整えました。

1998年に30万人いた睡眠病の新規患者は5万~7万人まで減りました。近い未来、この病気は根絶されるかもしれません。私たちチームは、その挑戦のただ中にあるのです。



(本人写真左)



コンゴ民主共和国

各地で続く戦闘で多くの人が避難。特に東部のへき地では医療の普及や援助も治安情勢に阻まれている。診断の難しさや治療薬の副作用などの問題が残る、“顧みられない熱帯病”、アフリカ睡眠病の罹患率も高い。



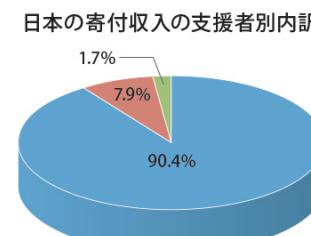
森の奥の村に向かうため、小川を渡ろうと苦戦するMSFの検査チーム。

© Barrie Rooney/MSF

2013年は、シリア、南スーダンでの内戦が激化するなど、深刻な人道危機がみられ、一方でフィリピンでは巨大台風による甚大な被害が発生しました。MSFは、シリアにおいては人道援助の優先性を訴え、困難な環境下で積極的な援助活動を展開しました。フィリピンについては、いち早く緊急支援スキームを立ち上げました。MSF日本は、パートナー事務局の一つとして、活動現地での援助活動を運営するオペレーション事務局からの、資金的ニーズおよび海外スタッフ派遣という人的ニーズに応じるべく努めました。2013年度のMSF日本の活動を財務面から振り返ります。

1. 寄付収入は総額58.9億円（前期比26%増）

皆さまからの絶大なるご支援、ご厚意により、2013年度のMSF日本の寄付収入は、総額58.9億円と過去最大となりました。2013年度は、フィリピンでの台風被害に対し緊急支援のための募金活動を行ったこともあり、実際に受領した寄付収入の総額は60.5億円に上りました。ただし、フィリピン向けの指定寄付の一部、1.6億円を、翌期の活動用として繰り延べたため、期間寄付収入は58.9億円となりました。

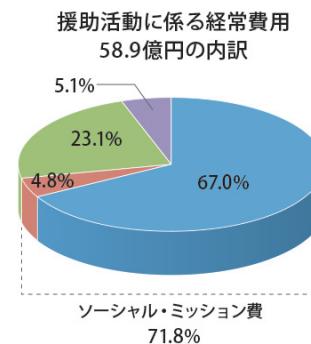


一般個人支援者数	257,035人
一般法人支援社数	8,520社
その他支援団体数	2,349団体
延べ支援者総数	267,904

支援者総数は、前年比で23%増加しました。寄付金以外にも、現物および役務・サービスのご提供という形でのご支援を数多くいただきました。

2. 援助活動に係る支出は総額58.9億円（前期比17%増）

MSF日本の、2013年度の活動別の支出は、右に示した通りです。好調な寄付収入の伸びに支えられ、プログラム支援金の大幅増が可能となり、年間計38.0億円を送金しました。広報活動と併せて、ソーシャル・ミッションは計42.3億円で、レシオ(全支出に占める割合)は71.8%でした。フィリピン向けの緊急援助キャンペーン等により、募金活動費も増加ましたが、調達効率は改善つつあります。

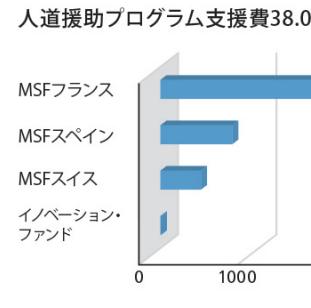


(百万円)	
① 援助活動費	3,943
・人道援助プログラム支援金	3,799
・国内外でのプログラム・サポート等	144
② 広報活動費	282
③ ソーシャル・ミッション費計(①+②)	4,225
④ 募金活動費	1,362
⑤ マネジメントおよび一般管理費	301
援助活動に係る経常費用合計(③+④+⑤)	5,888

※詳細は、P.24~31に掲載の「主要財務諸表」をご覧ください。

3. 人道援助プログラム支援金は総額38.0億円（前期比18%増）

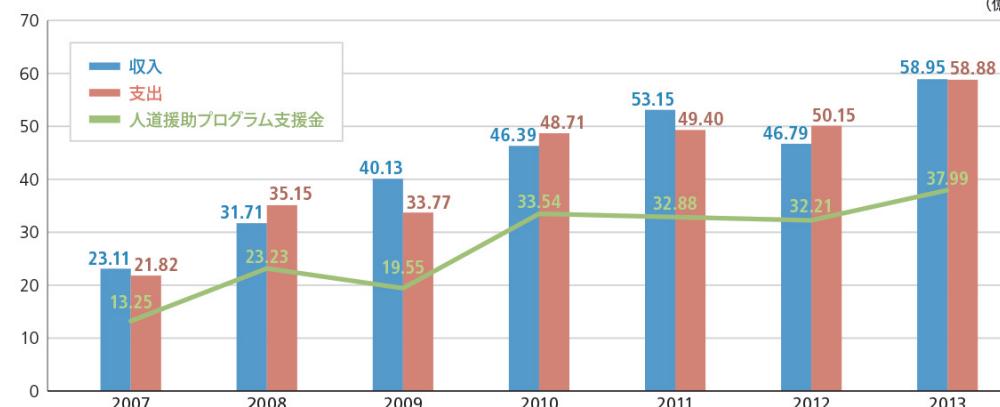
MSFには、5つのオペレーション事務局が世界各地で人道援助プログラムを運営し、MSF日本などパートナー事務局が財政支援をするという組織構造があります。MSF日本は2013年度において、パートナーシップ協定を結ぶMSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスが世界各地で運営する、各種の人道援助プログラムに対して、総額38.0億円の支援金を配分しました。



(百万円)	
MSFフランス	2,653
MSFスペイン	730
MSFスイス	412
イノベーション・ファンド	4

※2013年度の支援金の国別配分額の詳細については、P.21をご参照ください。

参考: MSF日本の過去7年間の財務実績

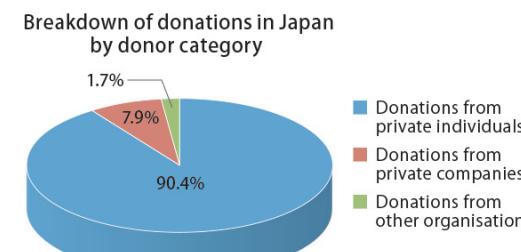


当期は、寄付収入、人道援助プログラム支援金とともに大幅増となりました。

In 2013, MSF saw serious humanitarian crisis in Syria and South Sudan due to the intensified civil war. A gigantic typhoon in the Philippines caused unprecedented damage. For Syria, MSF appealed the importance of the prioritization of humanitarian aid and developed its activities positively. MSF launched an emergency program for the Philippines immediately. MSFJ, as a partner office, tried its best to meet financial needs and human resource needs such as dispatching staff overseas to support the operational centres. Let us look back at 2013 from the view point of finance.

1. Donation revenues JPY 5.89 billion (increased by 26% year-on-year)

Thanks to your continuous support, MSF could post JPY 5.89 billion of the highest past revenues in 2013. The actual revenues raised in 2013 was JPY 6.05 billion due to emergency funding for the Philippines. However we carried over JPY 156 million to next year, which made the revenue for 2013 JPY 5.89 billion.

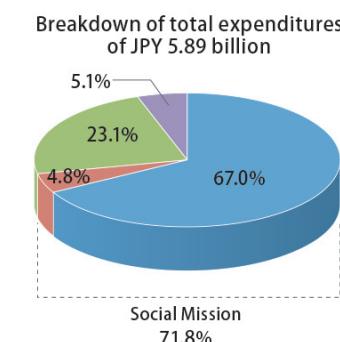


Private individuals	257,035
Private companies	8,520
Other organisations	2,349
Total number of donors	267,904

Number of private individual donors increased by 23% y/y. MSFJ also received in-kind donations from many supporters.

2. Total operating expenditures were JPY 5.89 billion (increased by 17% y/y)

MSFJ allocated the above JPY 5.89 billion for the activities as indicated on the right. Financial contribution by grants could be increased by 18% to JPY 3.80 billion. The social mission expenditures increased by 17% to JPY 4.23 billion and the ratio was 71.8%. The cost for fundraising activities increased partly due to emergency campaign for the Philippines. However, fundraising efficiency was also improved.

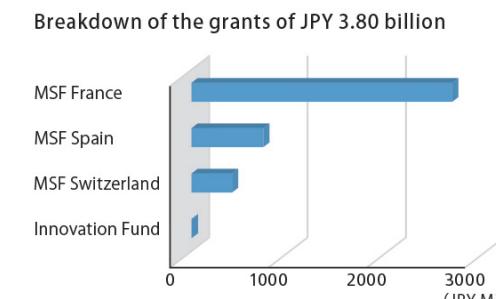


(JPY Mil)	
① Program & program support	3,943
・Program (Grants)	3,799
・HQ Program support, etc.	144
② Temoignage	282
③ Social Mission(①+②)	4,225
④ Fundraising	1,362
⑤ Management & General Admin.	301
Total(③+④+⑤)	5,888

*See Major Financial Statements (P.24-P.31) for further details.

3. Grants amounted to JPY 3.80 billion (increased by 18% y/y)

MSF has an organisational structure where five operational centres run humanitarian aid programs all over the world, and the other partner offices including MSFJ provide financial support. In 2013 MSFJ provided total grants of JPY 3.80 billion to the programs operated by MSF France, MSF Spain and MSF Switzerland under the partnership agreements.



(JPY Mil)	
MSF France	2,653
MSF Spain	730
MSF Switzerland	412
Innovation Fund	4

*See P.21 for further details of grants allocation by country for 2013.

MSF financial performance in the last 7 years



In 2013 we saw significant improvement in terms of donation revenue as well as grants for humanitarian programs.

財務の概況

2013年度のMSF日本の財務活動を主要活動別に総括します。活動の原資となる総収入は、58億9500万円で、前期比で26%増加しました。一方、総支出は58億8876万円で、前期比で17%増加しました。活動費の内訳は、ソーシャル・ミッション費として合計42億2556万円、その内訳は、人道援助プログラム支援金として37億9905万円、国内外におけるプログラム等へのサポート活動費として1億4412万円、広報活動費は2億8237万円でした。また、募金活動費として13億6200万円、マネジメントおよび一般管理費として3億120万円を計上しました。1年間の援助活動の結果、最終収支は700万円の余剰となりました。全般的にみて、おおむね効率的な資金活用が達成できました。各活動ごとの詳細は、本報告書の財務諸表に記載の通りです。

2013年度の日本経済は、アベノミクス効果により株高円安が進み、景気回復への糸口が垣間見えた1年でした。しかし、オペレーション事務局に対し、外貨で支援金を送金するMSF日本としては、円安による外貨での受領額の目減りに配慮し、工夫を強いたれた年でもありました。同支援金は、MSFフランス等を経由して、コンゴ民主共和国（6億5892万円）、ソマリア（2億7203万円）、南スーダン（2億4100万円）、ハイチ（2億4000万円）、シリア（2億3400万円）など、29の国・地域で運営された援助プログラムに配分されました。詳細はP.21付表1をご参照ください。

Financial Overview

MSFJ financial activities in 2013 are summarized by type of main activities. The total revenues as funds for activities increased by 26% year-on-year to JPY 5.90 billion. Total expenditures also increased by 17% year-on-year to JPY 5.89 billion. JPY 4.23 billion was allocated to Social Mission, which consists of grants JPY 3.80 billion, program support JPY 144 million, temoignage JPY 282 million. JPY 1.36 billion was allocated to fundraising activities and JPY 301 million was spent on management and general administrative costs. We posted a net surplus of JPY 7 million for this fiscal year. As such, it can be said that efficient support activities were achieved. See the financial statements for further details by activity.

Japan's economy could see a little sign of recovery due to high stock prices and JPY's depreciation as a result of economic policy named Abenomics in 2013. However, MSFJ faced challenges on how to tackle the negative impacts of continuing depreciation of JPY, when considering the operational centers as the receivers of the funds denominated in foreign currencies. MSFJ allocated the grants through three operational centres, to the programs operated in 29 countries, such as Democratic Republic of the Congo (JPY 659 million), Somalia (JPY 272 million), South Sudan (JPY 241 million), Haiti (JPY 240 million) and Syria (JPY 234 million) etc. See P.21 Appendix Table 1 for details.

収入、支出、プログラム支援金、ソーシャル・ミッション・レシオおよび剩余金の推移

Track of Operating Revenues, Operating Expenditures, Grants, Social Mission Ratio and Reserves

(単位:百万円/Unit: JPY Mil)					
	2009	2010	2011	2012	2013
収入 Revenues	4,013	4,639	5,315	4,679	5,896
支出 Expenditures	3,377	4,871	4,940	5,015	5,889
人道援助プログラム支援金 Grants	1,955	3,354	3,288	3,221	3,799
ソーシャル・ミッション・レシオ Social Mission Ratio	67.0%	74.5%	74.9%	72.0%	71.8%
剩余金 Reserves	830	573	949	613	620

*2013年度の収益・費用の詳細は「主要財務諸表」(P. 24)を、過年度の情報については付表2 (P.22)をご覧ください。

*See P.25 for further details of revenues and expenditures for 2013, and P.22 Appendix Table 2 for financial data in the past years.

2013年度は、効率的な募金調達、認知度改善のための広報活動を積極化したこと、さらにはフィリピンの緊急援助の後押しもあり、過去最大の収入を計上しました。これに伴い、過去数年伸び悩んだプログラム支援金が大幅に増えるなど、総支出が17%増加しました。結果として、ソーシャル・ミッション・レシオは71.8%、期末時点での剩余金は、年間国内経費のおおむね3.8ヵ月相当の水準となりました。

In 2013, MSF reinforced not only efficient fundraising but also awareness raising, to improve the recognition of MSFJ. That resulted in the highest revenue record, partly due to the effects of emergency in the Philippines. Consequently grants for humanitarian programs increased a lot compared to the past few years leading to 17% increase in total operating expenditures. As a result, social mission ratio was 71.8% and reserves at year end reached the level at 3.8 months of national expenditures.

付表1. MSF日本による2013年度人道援助プログラム支援金の配分先

Appendix Table 1 MSFJ's Grants Allocation by Country in 2013

MSF日本が2013年度に拠出したプログラム支援金約38億円は、以下の国・地域で稼働中の各プログラムに配分されました。

The following table shows breakdown of where and for what program the grants of JPY 3.80 billion provided by MSFJ in 2013 were utilized.

国 / 地域 Country / Region	2013	主要プログラム Major Programs Being Operated	オペレーション事務局 Operational Centres
アフリカ Africa			
コンゴ民主共和国 Democratic Republic of the Congo	658.9	紛争の避難民・負傷者の基礎医療提供 Healthcare for patients affected by conflicts	FR/SP
ソマリア Somalia	272.0	避難民への栄養・産科・外科医療、撤退 Health and nutrition program, obstetric or surgical care for IDPs, and withdrawal	FR/SP
南スーダン South Sudan	241.0	紛争避難民への一次・二次医療提供 Primary and secondary healthcare for refugees	FR/CH
スードン North Sudan	203.5	脆弱な住民への外来診療 OPD medical care for vulnerable residents	SP
マリ Mali	130.0	小児栄養失調治療と季節性マラリア予防 Pediatric malnutrition, seasonal malaria prevention	FR
ニジェール Niger	125.0	マラリア治療、栄養失調予防・治療 Prevention and treatment of malnutrition	FR/CH
ナイジェリア Nigeria	110.0	外傷治療、栄養失調治療 Trauma and malnutrition treatment	FR
ケニア Kenya	106.0	ソマリア難民へのHIV等への医療提供 HIV care for refugees from Somalia	FR
チャド Chad	80.0	マラリア・黄熱病対策 Medical care for malaria & yellow fever	FR
マラウイ Malawi	78.0	感染症(HIV/エイズ)治療等 Epidemic disease (HIV/AIDS) etc.	FR
ウガンダ Uganda	70.0	HIV/エイズ・多剤耐性結核治療、性暴力被害者ケア HIV/AIDS, MDR-TB, sexual and gender-based violence	FR
スワジランド Swaziland	70.0	感染症対策(HIV/エイズ・結核等) Epidemic disease (HIV/AIDS, TB etc.)	CH
エチオピア Ethiopia	50.0	ソマリ州周辺の避難民への医療援助 Medical care for refugees around Somali region	FR
中央アフリカ共和国 Central African Republic	50.0	脆弱な保健医療・マラリア対策 Basic healthcare & measures against malaria	FR
コンゴ共和国 Republic of the Congo	50.0	コンゴ民主共和国難民への医療・飲料水提供 Medical care, water supply for DRC refugees	FR
ギニア Guinea	30.0	感染症(HIV/エイズ・マラリア等)、母子保健医療 HIV/AIDS, malaria, healthcare for mothers and children	CH
計 Total	2,324.4		
中南米 The Americas			
ハイチ Haiti	240.0	外科病院、季節性コレラ対策 Surgical hospital and emergency care for seasonal cholera	FR/CH
コロンビア Colombia	85.7	武力紛争による避難民への医療 Medical care for refugees by armed conflict	SP
計 Total	325.7		
中東 Middle East			
シリア Syria	234.0	内戦の被災者に対する外来外科緊急医療 Emergency OPD surgery care for civil war victims	FR
ヨルダン Jordan	124.0	外科手術および理学療法による医療提供 Surgery and physiotherapy	FR
パレスチナ Palestine	90.1	外来診療および理学療法による治療 OPD consultation and physiotherapy care	SP
イエメン Yemen	70.0	紛争の避難民への基礎医療 Primary healthcare for displaced refugees	FR
計 Total	518.1		
アジア Asia			
カンボジア Cambodia	170.0	外来結核治療 OPD medical care for TB patients	FR
フィリピン Philippines	99.9	巨大台風による被災地での医療援助 Emergency aid for the areas devastated by typhoon	FR/CH
ラオス Laos	97.0	プロジェクト終了(妊娠婦・新生児への医療) Maternal and neonatal healthcare	FR
アルメニア Armenia	85.0	感染症対策(結核/多剤耐性結核) Epidemic disease (TB, MDR-TB)	FR
ミャンマー Myanmar	55.0	HIV/エイズ・結核への基礎医療 Primary medical care for HIV/AIDS, TB	CH
北朝鮮 North Korea	40.0	基礎医療 Primary healthcare	CH
計 Total	546.9		
オセアニア Oceania			
パプアニューギニア Papua New Guinea	80.0	妊娠婦・新生児への保健医療 Maternal and neonatal healthcare	FR
計 Total	80.0		
総計 Total	3,795.1		

付表2. MSF日本の過年度の収益・費用
Appendix Table 2 Operating Revenues and Expenditures for the Past Years

主要財務項目 Major Accounts	事業年度 Accounting Year	(単位:千円 / Unit: JPY thousand)				
		2008 自2008年1月1日 至2008年12月31日	2009 自2009年1月1日 至2009年12月31日	2010 自2010年1月1日 至2010年12月31日	2011 自2011年1月1日 至2011年12月31日	2012 自2012年1月1日 至2012年12月31日
寄付収入 Donations		3,136,827	4,012,438	4,636,197	5,312,364	4,666,644
個人寄付 From private individuals		2,900,262	3,640,651	4,029,690	4,663,051	4,187,854
一般法人寄付 From private companies		162,493	290,704	491,754	548,005	385,739
その他団体寄付 From other organisations		74,072	81,083	114,753	101,307	93,051
その他の寄付収入 (MSF韓国) Other Revenues		-	-	-	-	10,598
その他の収入 Other Revenues		34,773	1,482	3,030	3,402	2,012
利息収入 Interest income		17,809	338	405	1,940	982
講演会による収入 Lecture fee		463	719	1,508	438	379
会費収入 Membership fees		530	424	396	216	197
その他 Exchange gains etc.		15,971	1	721	808	454
経常収益 合計 Total Operating Revenues		3,171,600	4,013,920	4,639,227	5,315,766	4,679,255
①ソーシャル・ミッション費 Social Mission Expenditures		2,609,648	2,262,528	3,630,551	3,699,177	3,608,777
援助活動費 Program & Program Support		2,405,857	2,053,769	3,442,260	3,432,815	3,322,384
人道援助プログラム支援金 Grants		2,323,044	1,955,751	3,354,216	3,288,270	3,220,822
その他の人道援助活動支援金 (DNDI) Other humanitarian activities (DNDI)		23,120	15,053	12,725	12,366	15,637
国内援助活動費 Domestic humanitarian activities		-	-	-	67,259	-
人件費 Personnel expenses		42,320	53,272	49,361	42,223	50,351
旅費交通費 Travel expenses		3,096	2,792	2,354	2,926	3,827
その他(家賃、減価償却費等) Office rent, depreciation etc.		14,278	26,901	23,604	19,771	31,747
広報活動費 Awareness-raising/Temoignage		203,791	208,759	188,291	266,363	286,393
必須医薬品キャンペーン支援金 Campaign for Access to Essential Medicines		12,287	9,633	9,993	20,645	17,834
人件費 Personnel expenses		41,071	38,397	56,936	76,398	89,978
広告宣伝費等 Advertisement etc.		37,874	36,418	42,990	79,603	40,916
ニュースレター等費用 Newsletter etc.		46,801	79,942	38,993	43,770	42,730
業務手数料等 Commissions etc.		31,372	15,144	13,831	10,476	14,850
その他(印刷費、家賃、減価償却費等) Office rent, travel & depreciation etc.		34,385	29,224	25,548	35,471	80,085
②募金活動費 Fundraising		775,207	974,702	1,084,035	1,032,429	1,176,912
人件費 Personnel expenses		44,168	66,139	57,070	73,245	78,402
ダイレクトメール、ニュースレター等費用 Direct mail & newsletter related cost		515,302	682,067	814,343	712,780	843,069
業務手数料等 Commissions etc.		116,195	141,568	135,859	150,865	150,152
搬送費・電郵費 Mailing, delivery & telecommunication		20,352	24,015	31,701	35,955	36,917
印刷費 Printing fee		14,502	13,617	20,024	18,737	13,829
広告宣伝費等 Advertisement etc.		47,470	17,756	1,330	10,602	15,627
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等) Office rent, travel & depreciation etc.		17,218	29,540	23,708	30,245	38,916
③マネジメントおよび一般管理費 Management & General Admin.		130,542	139,943	157,398	208,232	229,325
MSFインターナショナル事務局経費 MSF International Office		23,254	21,668	24,817	46,392	39,667
人件費 Personnel expenses		55,564	66,619	82,842	86,655	86,687
MSF韓国事務所活動支援金 Contribution to MSF Korea office		-	-	-	32,535	52,342
業務手数料等 Commissions etc.		13,407	7,183	12,104	7,735	11,164
アソシエーション関連経費 Association related expenses		8,240	8,623	9,768	9,377	9,374
減価償却費 Depreciation		6,816	7,515	4,448	4,576	4,392
旅費交通費 Travel expenses		2,531	2,150	3,524	3,444	3,208
その他(家賃等) Other (Office rent etc.)		20,730	26,185	19,895	17,518	22,491
経常費用 合計 (①+②+③) Total Operating Expenditures		3,515,398	3,377,172	4,871,984	4,939,839	5,015,014
経常外収益(寄付金) Non-operating Revenues		63,668	-	-	-	-
経常外費用(租税) Non-operating Expenses		-	-	24,566	-	-
一般正味財産増減額 Net Assets Increase		△ 280,130	636,748	△ 257,322	375,927	△ 335,759
一般正味財産期末残高 Accounting Reserves		193,486	830,234	572,911	948,838	613,080

ソーシャル・ミッション・レシオ Social Mission Ratio	74.2%	67.0%	74.5%	74.9%	72.0%
--------------------------------------	-------	-------	-------	-------	-------

人道援助プログラム支援金の分配実績 Performance of Grants Allocation

MSFフランス MSF France	2008年以降パートナーシップ	1,587,000	1,315,000	2,040,000	2,298,285	2,240,000
MSFスペイン MSF Spain	2008年以降パートナーシップ	687,000	624,315	1,040,000	980,000	640,000
MSFスイス MSF Switzerland		33,404	4,281	-	-	330,598
MSFベルギー MSF Belgium		-	-	-	-	-
MSFオランダ MSF Holland		-	-	-	-	-
緊急支援 Emergency Program		-	-	263,941	-	-
イノベーション・ファンド Innovation Fund		15,640	12,155	10,275	9,985	10,223
総計 Total		2,323,044	1,955,751	3,354,216	3,288,270	3,220,822

独立監査人の監査報告書

2014年3月17日

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
会長 黒崎伸子 殿

有限責任あづさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 高橋宏

<財務諸表監査>

当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本の2013年1月1日から2013年12月31までの2013年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

[English Translation of the Auditors' Report Originally Issued in the Japanese Language]

Independent Auditors' Report

Mar 17 2014

Ms. Nobuko Kurosaki, the president
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japan:

KPMG AZSA LLC
Hirosi Takahashi
Designated Limited Liability Partner
Engagement Partner
Certified Public Accountant

We have audited the financial statements, comprising the balance sheet, the statement of financial activities, the statement of cash flows and the summary of assets and the related notes of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japan as of and for the year ended December 31, 2013.

Management's Responsibility for the Financial Statements and Others

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with accounting principles of public interest corporation generally accepted in Japan, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatements, whether due to fraud or error.

Aud

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

正味財産増減計算書

自平成25年1月1日 至 平成25年12月31日

科 目	当年度		前年度		増 減 比率	
	金 額	構成比	金 額	構成比		
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 寄付収入	5,837,065,931	100.0%	4,666,644,220	100.0%	1,170,421,711 25.1%	
一般個人寄付(注1)	5,275,858,926	90.4%	4,187,853,959	89.7%	1,088,004,967 26.0%	
一般法人寄付(注1)	463,048,578	7.9%	385,739,213	8.3%	77,309,365 20.0%	
その他団体寄付(注1)	98,158,427	1.7%	93,051,048	2.0%	5,107,379 5.5%	
③ その他のグラント収入(注2)	56,971,841		10,598,401		46,373,440 437.6%	
② その他の収入	1,658,738		2,012,380		△ 353,642 △17.6%	
講演会による収入	1,052,762		982,094		70,668 7.2%	
会費収入	414,000		378,877		35,123 9.3%	
利息収入	151,988		197,359		△ 45,371 △23.0%	
その他	39,988		454,050		△ 414,062 △91.2%	
経常収益 合計	5,895,696,510		4,679,255,001		1,216,441,509 26.0%	
(2) 経常費用						
■ ソーシャル・ミッション(①+②)	4,225,560,859	71.8%	3,608,777,023	72.0%	616,783,836 17.1%	
① 援助活動費	3,943,183,763	67.0%	3,322,383,978	66.2%	620,799,785 18.7%	
人道援助プログラム支援金(注3)	3,799,055,473		3,220,821,824		578,233,649 18.0%	
その他の人道援助活動費(注4)	43,074,874		15,637,153		27,437,721 175.5%	
人件費	67,545,758		50,351,150		17,194,608 34.1%	
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	33,507,658		35,573,851		△ 2,066,193 △5.8%	
② 広報活動費	282,377,096	4.8%	286,393,045	5.7%	△ 4,015,949 △1.4%	
必須医薬品キャンペーン支援金	22,276,884		17,833,500		4,443,384 24.9%	
人件費	75,926,052		89,978,258		△ 14,052,206 △15.6%	
印刷費	61,149,571		44,467,440		16,682,131 37.5%	
広告宣伝費等	1,359,750		40,915,665		△ 39,555,915 △96.7%	
ニュースレター等費用	66,582,319		42,730,077		23,852,242 55.8%	
業務手数料等	6,028,213		14,850,412		△ 8,822,199 △59.4%	
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	49,054,307		35,617,693		13,436,614 37.7%	
■ 募金活動費	1,362,002,649	23.1%	1,176,912,035	23.5%	185,090,614 15.7%	
人件費	82,373,101		78,402,188		3,970,913 5.1%	
ダイレクトメール、ニュースレター等費用	963,467,996		843,069,450		120,398,546 14.3%	
業務手数料等	162,818,355		150,151,729		12,666,626 8.4%	
通信および搬送費	51,977,388		36,916,740		15,060,648 40.8%	
印刷費	15,779,878		13,828,838		1,951,040 14.1%	
広告宣伝費	59,594,871		15,627,442		43,967,429 281.3%	
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	25,991,060		38,915,648		△ 12,924,588 △33.2%	
■ マネジメントおよび一般管理費	301,202,707	5.1%	229,324,555	4.6%	71,878,152 31.3%	
人件費	103,875,383		86,686,996		17,188,387 19.8%	
MSFインターナショナル事務局経費	68,980,166		39,667,152		29,313,014 73.9%	
アソシエーション関連経費(人件費以外)	10,329,573		9,374,001		955,572 10.2%	
MSF韓国事務所活動支援金	69,458,951		52,341,614		17,117,337 32.7%	
その他(家賃、旅費交通費、減価償却費等)	48,558,634		41,254,792		7,303,842 17.7%	
経常費用 合計	5,888,766,215	100.0%	5,015,013,613	100.0%	873,752,602 17.4%	
一般正味財産当期増減額	6,930,295	-	△ 335,758,612	-	342,688,907	
一般正味財産期首残高	613,079,800	-	948,838,412	-	△ 335,758,612 (35.4%)	
一般正味財産期末残高	620,010,095	-	613,079,800	-	6,930,295 1.1%	
II. 指定正味財産増減の部						
1. 使途指定寄付金受入額(注5)	369,609,302	-	76,306,499	-	293,302,803 384.4%	
2. 一般正味財産への振替額	213,984,355	-	76,306,499	-	137,677,856 180.4%	
指定正味財産当期増減額	155,624,947	-	-	-	155,624,947 100.0%	
指定正味財産期首残高	155,624,947	-	-	-	155,624,947 100.0%	
指定正味財産期末残高	775,635,042	-	613,079,800	-	162,555,242 26.5%	
III. 次期繰越正味財産期末残高	775,635,042	-	613,079,800	-	162,555,242 26.5%	

(注1) 指定正味財産増減の部(注5)からの振り替え、および現物寄付(計28,741,582円)を含む。

(注2) MSF韓国からのグラント等である。財務諸表への注記14参照。

(注3) 当期において、MSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスがそれぞれ運用する、人道援助プログラム(コンゴ民主共和国ほか全29カ国)に配分した。

(注4) DNDI(非営利団体、「顧みられない病気のための新薬イニシアチブ)に対する活動支援金、および援助プログラムに対する国内サポート活動費。

(注5) 使途指定寄付金(シリア、南スудan、フィリピン)は、MSFフランス経由にて、それぞれに配分された。ただし、フィリピン緊急援助指向の指定寄付の一部は、

全MSFの合意の下、155,624,947円を翌期の援助活動として繰り延べている。貸借対照表、資本の部、2.固定資産、特定資産を参照。

[English Translation of the Statement of Financial Activities Originally Issued in Japanese Language]
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Statement of Financial Activities

For the year ended December 31, 2013

(Unit: JPY)

Title	2013		2012		Changes	
	Amount	Ratio	Amount	Ratio		
I. Non-earmarked Net Assets Changes						
1. Changes in Operating Item						
(1) Operating Revenues						
① Donations	5,837,065,931	100.0%	4,666,644,220	100.0%	1,170,421,711 25.1%	
Donations from private individuals (*)	5,275,858,926	90.4%	4,187,853,959	89.7%	1,088,004,967 26.0%	
Donations from private companies (*)	463,048,578	7.9%	385,739,213	8.3%	77,309,365 20.0%	
Donations from other organizations (*)	98,158,427	1.7%	93,051,048	2.0%	5,107,379 5.5%	
③ Other Grants received (*)	56,971,841		10,598,401		46,373,440 437.6%	
② Other Revenues	1,658,738		2,012,380		(353,642) △17.6%	
Lecture fee	1,052,762		982,094		70,668 7.2%	
Membership fees	414,000		378,877		35,123 9.3%	
Interest income	151,988		197,359		(45,371) △23.0%	
Others	39,988		454,050		(414,062) △91.2%	
Total Operating Revenues	5,895,696,510		4,679,255,001		1,216,441,509 26.0%	
(2) Operating Expenditures						
■ Social Mission Expenditures (①+②)	4,225,560,859	71.8%	3,608,777,023	72.0%	616,783,836 17.1%	
① Program & Program Support	3,943,183,763	67.0%	3,322,383,978	66.2%	620,799,785 18.7%	
Financial contribution to operational centres (Grants) (*)	3,799,055,473		3,220,821,824		578,233,649 18.0%	
Expenses for other humanitarian activities (*)	43,074,874		15,637,153		27,437,721 175.5%	
Personnel expenses	67,545,758		50,351,150		17,194,608 34.1%	
Others (Office rent, travel and depreciation etc.)	33,507,658		35,573,851		(2,066,193) △5.8%	
② Awareness-raising/Temoignage	282,377,096	4.8%	286,393,045	5.7%	(4,015,949) △1.4%	
Contribution to Campaign for Access to Essential Medicines	22,276,884		17,833,500		4,443,384 24.9%	
Personnel expenses	75,926,052		89,978,258		(14,052,206) △15.6%	
Printing fee	61,149,571		44,467,440		16,682,131 37.5%	
Advertisement etc.	1,359,750		40,915,665			

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

貸借対照表

2013年12月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	増減比
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金および預金	1,090,009,036	747,718,815	342,290,221	45.8%
未収入金(注1)	90,716,853	86,149,908	4,566,945	5.3%
前払費用	5,522,829	6,629,114	△ 1,106,285	△16.7%
立替金(注2)	145,833,797	72,918,200	72,915,597	100.0%
その他流動資産	15,916,679	1,447,719	14,468,960	999.4%
貸倒引当金	-	△ 517,000	517,000	△100.0%
流動資産合計	1,347,999,194	914,346,756	433,652,438	47.4%
2. 固定資産				
1) 特定資産				
緊急災害救援積立資金(注3)	155,624,947	-	155,624,947	100.0%
2) その他固定資産				
建物附属設備	4,199,772	13,042,732	△ 8,842,960	△ 67.8%
事務用什器・備品	6,551,779	9,454,398	△ 2,902,619	△ 30.7%
ソフトウェア	7,759,896	16,468,946	△ 8,709,050	△ 52.9%
リース資産	3,564,256	-	3,564,256	100.0%
長期差入保証金	30,447,970	30,019,970	428,000	1.4%
固定資産合計	208,148,620	68,986,046	139,162,574	201.7%
資産合計	1,556,147,814	983,332,802	572,815,012	58.3%
II. 債負の部				
1. 流動負債				
未払金(注4)	664,556,388	353,810,002	310,746,386	87.8%
預り金等	96,936,091	1,049,800	95,886,291	9133.8%
短期リース債務	1,303,220	-	1,303,220	100.0%
流動負債合計	762,795,699	354,859,802	407,935,897	115.0%
2. 固定負債				
長期リース債務	2,282,873	-	2,282,873	100.0%
退職給付引当金	15,434,200	15,393,200	41,000	0.3%
固定負債合計	17,717,073	15,393,200	2,323,873	15.1%
負債合計	780,512,772	370,253,002	410,259,770	110.8%
III. 正味財産の部				
指定正味財産(注3)	155,624,947	-	155,624,947	100.0%
一般正味財産	620,010,095	613,079,800	6,930,295	1.1%
正味財産合計	775,635,042	613,079,800	162,555,242	26.5%
負債および正味財産合計	1,556,147,814	983,332,802	572,815,012	58.3%

(注1) 外部の委託業者により支援者からの回収が済んでいる寄付金(支援者口座からの引落しは、期末までに完了)のうち、期末現在、同委託業者から未入金のもの。

(注2) MSFフランス、MSFイスラ等のオペレーション事務局に対し国内で立替えた経費等である。

(注3) 当期に受領したフィリピン向けの指定寄付金のうち、翌期の援助活動用として繰り延べたもの。

(注4) うち、MSFフランス、MSFスペイン、MSFイスラの各事務局に対する、プログラム支援金に関するものは、545,112,091円。

[English Translation of the Balance Sheet Originally Issued in Japanese Language]
Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon

Balance Sheet

(As of December 31, 2013)

(Unit: JPY)

Title	2013	2012	Changes	Ratio
I. Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	1,090,009,036	747,718,815	342,290,221	45.8%
Accounts receivable (*1)	90,716,853	86,149,908	4,566,945	5.3%
Prepaid expenses	5,522,829	6,629,114	(1,106,285)	(16.7%)
Advances (*2)	145,833,797	72,918,200	72,915,597	100.0%
Other current assets	15,916,679	1,447,719	14,468,960	999.4%
Bad debt allowance	-	(517,000)	517,000	(100.0%)
Total Current Assets	1,347,999,194	914,346,756	433,652,438	47.4%
2. Non Current Assets				
1) Specific purpose funds				
Reserve funds for emergency program (*3)	155,624,947	-	155,624,947	100.0%
2) Other Non Current Assets				
Building structures	4,199,772	13,042,732	(8,842,960)	(67.8%)
Office equipment and fixtures	6,551,779	9,454,398	(2,902,619)	(30.7%)
Software	7,759,896	16,468,946	(8,709,050)	(52.9%)
Leased assets	3,564,256	-	3,564,256	100.0%
Long-term deposit	30,447,970	30,019,970	428,000	1.4%
Total Non Current Assets	208,148,620	68,986,046	139,162,574	201.7%
Total Assets	1,556,147,814	983,332,802	572,815,012	58.3%
II. Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accounts payable (*4)	664,556,388	353,810,002	310,746,386	87.8%
Deposits received	96,936,091	1,049,800	95,886,291	9133.8%
Short-term lease obligation	1,303,220	-	1,303,220	100.0%
Total Current Liabilities	762,795,699	354,859,802	407,935,897	115.0%
2. Non Current Liabilities				
Long-term lease obligation	2,282,873	-	2,282,873	100.0%
Provision for retirement benefits	15,434,200	15,393,200	41,000	0.3%
Total Non Current Liabilities	17,717,073	15,393,200	2,323,873	15.1%
Total Liabilities	780,512,772	370,253,002	410,259,770	110.8%
III. Net Assets				
Earmarked Net Assets (*3)	155,624,947	-	155,624,947	100.0%
Non-earmarked Net Assets	620,010,095	613,079,800	6,930,295	1.1%
Total Net Assets	775,635,042	613,079,800	162,555,242	26.5%
Total Liabilities and Net Assets	1,556,147,814	983,332,802	572,815,012	58.3%

Notes: (*1) Balance of the outstanding donations as of December 31, 2013, which were already debited from donors' bank accounts, however not yet arrived at our bank account due to the procedures of funds transfer by our outsourced vendor.

(*2) Advances temporarily paid on behalf of the operational centers like MSF France and MSF Switzerland etc.

(*3) The funds are a part of the earmarked donations for Philippines, which will be carried forward to 2014 for the continued humanitarian aid activities in the same country.

(*4) The grants payables for MSF France, MSF Spain and MSF Switzerland are JPY 545,112,091.

財務報告(主要財務諸表)

Financial Report (Major Financial Statements)

財務諸表への注記

1. 財務諸表の作成基準

国境なき医師団日本(Médecins Sans Frontières Japon、以下「MSF日本」)の財務諸表は、日本において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準(平成16年10月14日改正)に基づいて作成されている。同基準は国際財務報告基準(International Financial Reporting Standards)が求める適用要件や開示上の要件とは、いくつかの点で相違している。なお、活動費用の各事業活動別の分類および会計処理の表示については、MSF各事務局との間で共通して適用する「MSF International Accounting Standards」に準拠している。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産
定額法によっている。(耐用年数は建物附属設備および什器は3~5年、器具備品およびビデオ機器は3年)
- ②ソフトウェア
定額法によっている。(耐用年数は3年)
- ③リース資産
ITに係るソフトウェアならびに据えつけ工事一式であり、3年にわたり定額法により減価償却している。

(2) 引当金の計上基準

- 退職給付引当金
職員に対する退職金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

- ファイナンス・リース取引は、「リース取引に係る会計基準」に準拠し、売買処理により、リース資産およびリース債務(短期および長期リース債務)を計上する会計処理を行っている。

(4) 収益の認識

- 寄付収入は原則として、現金主義に基づき認識している。ただし、回収代行委託分に係る一部の未収寄付金については、支援者の口座からの引き落としが当該事業年度内に完了したか、委託業者からの計算書により回収額およびMSF日本への入金時期が確定しているものについては、当期の収益として認識している。

現物寄付の扱い

- MSF日本は金銭以外にも、現物寄付として、ICT機器、ソフトウェア、切手等、およびプロボノによる役務の提供による支援を受けている。これらの現物寄付は、取得時に合理的に価額を見積もり「寄付収入」として認識し、それらを事業供用する時点で費用として計上している。マイレージ寄付については、航空券への振り替えの時点で、収益と費用を同時に計上している。なお、合理的な金額の見積もりが困難な、プロボノによる役務提供については、簿外処理をしている。

(5) 経常費用について

- 費用については、主要な4事業活動別に区分して表示している。なお、各事業活動に共通の間接経費については、年間実労働時間に基づいて算出した、各事業活動別の総職員数で按分し、それぞれ以下の4事業活動に配分している。

5-1) 人道援助活動費

- 人道援助プログラム支援金
パートナーシップ関係を結ぶオペレーション事務局である、MSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスが世界各国・地域で運営する人道援助プログラムに支援金を配分している。

その他の人道援助活動費

- 非営利団体「顧みられない病気のための新薬イニシアティブ(DNDi: Drugs for Neglected Diseases initiative)」に対する資金援助(2014年まで継続)。およびその他の活動費。

海外での人道援助プログラムに対する、日本国内でのサポート活動

- MSF日本は5つのオペレーション事務局の人材ニーズに応じ、フィールドにて人道援助プログラムに従事するスタッフの採用手続き・海外派遣説明会を実施するとともに、ビザ取得等の渡航準備、および各種の渡航前国内トレーニングを実施した後に海外現地に派遣している。

5-2) 広報活動費

- MSF日本は主要なミッションの一つとして、世界各地での人道的医療援助活動の現場での最新情報について、出版物、ウェブサイト、展示会ならびに各メディアを通して、既存の支援者および一般社会等に対して周知活動を行っている。

必須医薬品キャンペーン(Campaign for Access to Essential Medicines)への資金援助

- 同キャンペーンは、MSFが1999年以来世界規模で展開しているもので、さまざまな感染症で苦しむ人びとに安価で効果的な治療薬を提供できるよう、各國政府、国際機関、製薬会社に対して働き掛けを行っている。MSF日本も他の事務局とともに応分の資金援助をしており、取りまとめはMSFインターナショナル事務局が行っている。

5-3) 募金活動費

- MSF日本は、援助活動に充てる十分な資金を確保するため、さらなる支援者を募ることを目的として、夏冬のダイレクトメールおよびニュースレターによる募金キャンペーン等を行っている。

5-4) マネジメントおよび一般管理費

- マネジメント経費、および人事・財務・経理・総務・ICT等の管理部門の間接経費である。ほかにMSFインターナショナル事務局の経費負担分を含む。同事務局はネットワークで結ばれたMSF全事務局およびその他の関連組織との間の調整業務を担う組織で、その運営費については、全事務局が応分の負担をしている。

(6) 消費税等の会計処理

- 税込方式によっている。

3. 為替変動リスクのヘッジ

- MSF日本は、外国為替の変動による、外貨での支援金送金額への影響を軽減するために、適宜先物為替取引を活用している。なお、投機目的には使用していない。

4. 基本財産および特定財産の増減額およびその内訳

- 指定正味財産・一般財産として受け入れた資産のうち、フィリピン向けの災害救援活動に係る資金は、特定資産として固定資産の部に区分掲記している。同資産は、翌期において、同国での救援活動に配分予定である。

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価額・減価償却累計額および当期末残高

(単位:円)			
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	47,554,645	43,354,873	4,199,772
事務用什器・備品	47,359,142	40,807,363	6,551,779
什器	14,160,508	12,917,470	1,243,038
器具・備品	30,285,474	25,239,657	5,045,817
ビデオ機器	2,913,160	2,650,236	262,924
ソフトウェア	49,950,677	42,190,781	7,759,896
償却資産 計	144,864,464	126,353,017	18,511,447
リース資産(ドナー情報管理システム)	63,392,091	59,827,835	3,564,256
総 計	208,256,555	186,180,852	22,075,703

7. 未払金の当期末残高

未払金の主要なものは、以下のとおりである。

(単位:円)			
相手先	金 額	相手先	金 額
MSFフランス	377,851,125	MSFスペイン	80,000,000
MSFスイス	87,260,966	その他	119,444,297
		合 計	664,556,388

8. 退職給付引当金

(1) 採用している退職給付金制度の概要

内部規定に基づき、退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務およびその内訳

退職給付債務 15,434,200円、退職給付引当金 15,434,200円

(3) 退職給付費用

5,717,200円

9. 保証債務等の偶発債務

該当事項はない。

10. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

該当事項はない。

11. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

12. 重要な後発事象

該当事項はない。

13. 2013年度、人道援助プログラム支援金等の配分内訳

グラントの配分は、資金配分協定(Resource Sharing Agreement 2)に基づく。

(単位:円)				
	個人からの寄付 ^注	法人等からの寄付	MSF韓国からのグラント	合 計
プログラム支援金の配分先	3,388,057,417	359,793,708	47,260,966	3,795,112,091
MSFフランス	2,398,177,417	254,673,708	-	2,652,851,125
MSFスペイン	659,920,000	70,080,000	-	730,000,000
MSFスイス	329,960,000	35,040,000	47,260,966	412,260,966
MSFインターナショナル事務局(イノベーション・ファンドとして)			支援金合計	3,943,382
				3,799,055,473

注)「個人からの寄付」、「法人等からの寄付」の区分は按分計算による。

14. その他

MSF日本はMSF韓国に対し、当期において活動支援費として、計69,458,951円を拠出した。2013年度の、韓国内での寄付収入は、円ベースで、47,260,966円であった。同寄付金は、グラントとして、MSF日本を経由して、MSFスイスが運営する援助プログラム(ハイチ3ヵ国)へ配分した。(上記の注記13参照)

Notes to Financial Statements

1. Basis for presenting the Financial Statements

The financial statements of Médecins Sans Frontières Japon (hereinafter "MSFJ") have been prepared in accordance with the Accounting Standards of Public Interest Corporation generally accepted in Japan (revised in October 14, 2004), which are different in certain respects in terms of application and disclosure requirements from International Financial Reporting Standards (IFRS). Detailed methods of description of the result of accounting, such as classification of expenses by activity, are prepared in compliance with MSF International Accounting Standards, which are applicable for all of MSF related entities.

2. Summary of Significant Accounting and Reporting Policies

(1) Method of depreciation of Tangible Fixed Assets and Software

Depreciation is calculated on a straight-line basis over the expected useful lives of the assets.

Category of Fixed Assets	Period	Category of Fixed Assets	Period
Building structures	3-5 years	Software	3 years
Furniture	3-5 years	Leased assets	3 years
Equipment and fixtures	3 years		

(2) Basis for recording provisions

Retirement benefits

In compliance with the internal "End of Service Payment Plan", MSFJ records the required amount of payment at year end to provide for the payments of retirement benefits to the staff.

(3) Leased assets

Financing leases are accounted for in accordance with "the Accounting Standards for Leased Assets" and MSFJ recognizes the leased assets with lease obligations covering short as well as long-term basis on the balance sheet.

(4) Recognition of Revenues

Donations are basically recognized on a cash basis, with exceptional cases where the donations are collected by the outsourced vendors, parts of which are recognized as receivables, subject to the fact that collection of donations from the individual donors' bank accounts have been completed before balance sheet date, and confirmation of the amounts and the payment date in writing. With regard to the in-kind donations which MSFJ usually receives as free provision of office equipment etc. or the services, we recognize revenues upon receipt based on the available market price, and recognize the expenses when being used for the humanitarian activities. In case of mileage donations, revenues and expenses are simultaneously recognized when the mileage is exchanged with the air tickets. However, regarding the professional services provided on pro-bono basis such as legal consultation etc., we have not presented them in our statements of financial activities due to difficulty in evaluation.

(5) Operating Expenditures

Expenditures are classified into four types of activities by nature as presented below. Expenses are allocated to each type. The overhead expenses are allocated to every activity by allocation key calculated based on the actual total working hours employed in one full year (FTE: Full Time Equivalent).

① Program & program support

a) Financial contribution to operational centers (Grants)

This is related to the grants allocated to each operational program located in the countries through Operational Centers such as MSF France, MSF Spain and MSF Switzerland in this fiscal year, according to finance agreement signed under the current "Resource Sharing Agreement 2".

b) Expenses for the other humanitarian activities

Financial support to DNDI (Drugs for Neglected Diseases initiative) until 2014, and the other expenses for the program support activities.

c) Program support implemented by MSFJ office

Program support includes the costs of activities for recruiting field staff for the program operations, arranging required training sessions as well as preparing for the departures to the fields outside of Japan.

② Awareness-raising activities

This includes all expenses incurred in connection with MSFJ's advocacy activities. Information is provided about our current activities at each program site. This information is disseminated via publications, our website, exhibitions and the other media.

Financial support to Campaign for Access to Essential Medicines

The Campaign has been implemented by MSF since 1999 worldwide. Its mission is to address governments, international organizations and pharmaceutical companies in order to provide people suffering from infectious diseases with affordable and effective medicine. MSFJ is providing funds along with other MSF sections under the coordination of the MSF International office.

③ Fundraising activities

MSFJ implements fundraising activities to assure sufficient funding for our operations. For this purpose, MSFJ launches several fundraising campaigns such as direct mailings and newsletter mailings.

④ Management and administrative expenses

This includes expenses incurred for executive management as well as the overhead expenses for the administration of MSFJ office, including human resources, finance and ICT. Financial contribution shared by all MSF offices for the operating expenses of MSF International office is also included. MSF International office provides the all MSF offices with the coordination services.

(6) Computation of Consumption Tax

All amounts stated are inclusive of national consumption tax and local consumption tax.

3. Hedging foreign currency exposure

MSFJ uses foreign currency forward contracts as a measure of hedging exposure risk of foreign currency. MSFJ does not use this instrument for speculation purposes.

4. Changes, balances and breakdown of the endowment and the special funds

Among the assets accepted as earmarked and/or non-earmarked net assets, MSFJ classifies the earmarked funds for emergency for Philippines in non-current assets as specific purpose reserve funds, which will be carried over to next year.

5. Assets pledged as security

not applicable

6. Acquisition costs, accumulated depreciations and the carrying amounts of fixed assets at the end of current year

(Unit: in JPY)

	Acquisition costs	Accumulated depreciation	Carrying amounts at the end of current year
Building structures	47,554,645	43,354,873	4,199,772
Office equipment and fixtures	47,359,142	40,807,363	6,551,779
Furniture	14,160,508	12,917,470	1,243,038
Equipment and fixtures	30,285,474	25,239,657	5,045,817
Video equipment	2,913,160	2,650,236	262,924
Software	49,950,677	42,190,781	7,759,896
Fixed assets without finance lease	Total	144,864,464	126,353,017
Leased assets (Donor management system)		63,392,091	59,827,835
	Grand Total	208,256,555	186,180,852
			22,075,703

7. Balances of major payables at the end of current year

(Unit: in JPY)

Customers/Vendors	Amount	Customers/Vendors	Amount
MSF France	377,851,125	MSF Spain	80,000,000
MSF Switzerland	87,260,966	Others	119,444,297
	Total		664,556,388

8. Retirement benefits

(1) The outline of the retirement benefit plan

MSFJ has adopted retirement benefit plan in accordance with the internal regulation.

(2) Obligation for retirement benefit

Retirement benefits obligation : JPY 15,434,200, Provision for retirement benefit : JPY 15,434,200.

(3) Retirement benefits related expenses : JPY 5,717,200

9. Contingent liabilities

not applicable

10. Details, name of provider and the current year changes in terms of subvention etc.

not applicable

11. Description about the transactions with the related parties

not applicable

12. Significant subsequent events

not applicable

13. Financial contribution to MSF operational centres etc. in 2013

Grants contribution is implemented in compliance with the Resource Sharing Agreement 2.

(Unit: in JPY)

	Donations from individuals(*)	Donations from companies etc.	Grants from MSFK	Total
Recipients of grants	3,388,057,417	359,793,708	47,260,966	3,795,112,091
MSF France	2,398,177,417	254,673,708	-	2,652,851,125
MSF Spain	659,920,000	70,080,000	-	730,000,000
MSF Switzerland	329,960,000	35,040,000	47,260,966	412,260,966
MSF International office (for innovation funds)				3,943,382
	Total Grants			3,799,055,473

Remark

(*) The classification of "individuals" and "companies etc." is on a pro rata basis.

14. Others

In 2013, MSFJ provided MSF South Korea (MSFK) with financial support amounting to JPY 69,458,951. In 2013 MSFK raised the donations equivalent to JPY 47,260,966 in ROK. MSFJ collected all of such funds as grants from MSFK and allocated through MSF Switzerland to the programs in Haiti and the other 3 countries in 2013. (See above notes 13)

出版 Publication

MSF日本スタッフ編著の書籍を上梓

A compilation of field reports written by the members of MSF Japan



『妹は3歳、村にお医者さんがいたくれたなら。
～わたしたちが900万人の人びとに
医療を届けるわけ』

国境なき医師団日本[編著]
合同出版/1,400円+税

*本書の売り上げの一部は国境なき医師団の活動に
使われます。
*全国書店、オンライン書店でお買い求めいただけます。

紛争、自然災害、貧困……。さまざまな理由で必要な医療を受けられない人びとがいる。国境なき医師団のスタッフが体験した、世界の人道危機の状況と医療援助の現実。命をつなぐ医療をみんなが受けられるようにするために、何ができるのか？ 中高生以上を対象に、人道援助の現場を分かりやすく伝えるため、現地活動に参加するMSF日本のスタッフが集まって執筆した書籍を、2013年9月に刊行しました。

オンライン Online

ウェブサイト・SNSでの情報発信強化

Disseminating information through website and SNS

新しくなったMSF日本のウェブサイト
The new website



2013年はMSF日本のオンライン媒体を通じた情報発信のあり方が大きく変化した1年でした。スマートフォンやタブレット端末の普及、SNSの興隆など情報環境の変化に対応するため、MSF日本公式ウェブサイトを10月に刷新しました。

新サイトの印象を尋ねるアンケートでは「旧サイトと比べて良くなった」と答えた人が9割を占めました。また、2013年1月の訪問者数は対前年同月比で1.5倍増となり、高評価が裏付けられました。

SNSでは、公式フェイスブックのフォロワー数が11月に10万人を超え、日本でも有数の規模となりました。多くのコメントも寄せられています。また、フェイスブックとの連携で、公式YouTubeへのアクセス数も大きく伸びました。

In 2013, MSF Japan made significant changes in the way information is disseminated through its online media. Firstly, the official website was renewed in October 2013 to stay abreast of the rapidly-changing information environment, such as the increasing popularity of smartphones, tablet terminals, and SNS.

In our questionnaire survey, 90% of the respondents preferred the new website to the old. This was further confirmed by the number of website viewers in January 2014 being 1.5 times higher than the same month in the previous year.

As for SNS, MSF Japan's Facebook followers reached 100,000 in November 2013, making it one of the most popular Facebook pages in Japan. We are also receiving a significant number of comments, and access to our YouTube account has also increased.

MSFワールドワイド

2012年の
活動概況と財務

※ P.34, 35, 37は、MSF全事務局の活動を網羅した『MSF ACTIVITY REPORT 2012』(英語版)の抜粋です。
2013年の実績は2014年7月に発表の予定です。

2012年、MSFは72の国と地域で活動しました

2012年、国境なき医師団(MSF)は、72の国と地域で医療・人道援助プログラムを実施しました。

多様なニーズに対応すべく、MSFは毎年数多くのプログラムを開始あるいは終了。

また、1つの国で複数のプログラムを実施することもあります。活動地では常に状況の変化を観察し、可能な場合には現地保健当局や他のNGOなどにプログラムの引き継ぎを行っています。



ハイチ
不足する外科・産科医療の専門病院を運営



スー丹
ダルフールなど紛争地域で医療を提供



ニジェール
栄養失調のまん延に対応



© Julie Remy

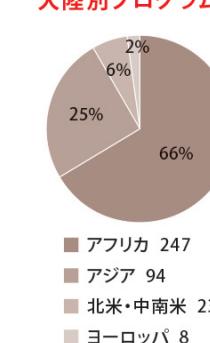
MSFの活動概況(2012年実績)

※小数点以下は四捨五入

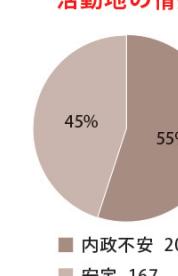
活動規模が大きい10の国 (プログラム支出額順)

1. コンゴ民主共和国
2. 南スー丹
3. ハイチ
4. ニジェール
5. ソマリア
6. ケニア
7. スー丹
8. チャド
9. エチオピア
10. ジンバブエ

大陸別プログラム数



活動地の情勢



MSFのネットワーク(2014年3月現在)

MSFは世界28ヵ国に事務局を持つ国際的な組織です。

本部は存在せず、それぞれの事務局が憲章に基づき、独立して活動を行いながら、緩やかなネットワークで結ばれています。

オペレーション事務局

プログラムの運営を担当し、医療チームを編成・派遣する。
パートナー事務局の機能も併設している。

オランダ スイス スペイン フランス ベルギー

パートナー事務局

活動に参加するスタッフを募集・派遣するほか、広報活動、募金活動を行う。

アイルランド	米国	アラブ首長国連邦	アルゼンチン	英国
イタリア	インド	オーストラリア	オーストリア	カナダ
韓国	ギリシャ	スウェーデン	チェコ	デンマーク
ドイツ	日本	ノルウェー	ブラジル	香港
南アフリカ共和国	メキシコ	ルクセンブルク		

MSFインターナショナル

事務局間の調整を行う機関。(スイス)

付属組織

ロジスティックセンター(フランス、ベルギーほか)
物資の購入、管理、輸送を担当し、効率的な援助活動のための物資調達を支える。
エビセンター(フランス)
疫学研究組織。MSFの活動地で得られた医学的情報の分析や調査研究報告などを行う。



© Nichole Sobecki

南スー丹

難民キャンプに病院を設置



© Roshan Kumarasamy/MSF

ソマリア

内戦による避難民に医療を提供



© Sven Torfinn

コンゴ民主共和国

紛争地域の住民や避難民に医療を届ける



© Julie Remy

ジンバブエ

HIV/エイズや多剤耐性結核の対策を支援

MSF結合ベースの活動実績について

国境なき医師団(以下MSF)の5つのオペレーション事務局は、2012年度、70を超える国と地域で人道援助プログラムを運営しました。個々のプログラムは、MSF日本を含めた19事務局の財政的および人的支援によって支えられています。

こうしたMSFの1年間のグローバルな活動の結果としての財政状態および経営成績は、スイスにあるMSFインターナショナル事務局により、国際財務報告基準に準じた結合ベースの『国際版財務報告』としてまとめられ、監査法人であるKPMGおよびErnst & Youngの共同監査を受けた後に公表されています。

この結合ベースの年次会計報告書は、5つのオペレーション事務局の各活動地のプログラムごとの個別の決算数値を取りまとめ、オペレーション事務局を含めた全事務局の個別決算書の結合から、会計監査に至るまでの手続きに時間を要するため、翌事業年度においてMSF日本のウェブサイトにて紹介しています。ここでは、2012年度の結合決算書から抜粋し、要約のための組み替えを行った「財務活動計算書」(いわゆる損益計算書)を掲載します。

『2012年度 国境なき医師団 国際版財務報告』(英文)は[こちらからダウンロードできます。](http://www.msf.or.jp/library/annualreport/) ⇒ www.msf.or.jp/library/annualreport/

2012年度 結合ベースMSF「財務活動計算書」(要約)

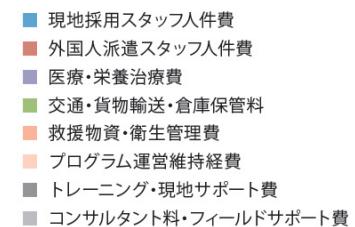
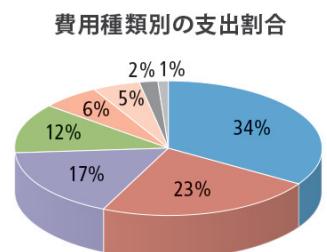
	2012 (千ユーロ)	2011 (千ユーロ)	増 減 (千ユーロ)	2012 円換算額 ^(注3) (百万円)
I. 経常収益				
1)個人支援者からの収入(MSF日本など全事務局の収入を含む)	749,872	684,222	65,650	76,929
・一般個人寄付	654,340	619,615	34,725	67,129
・遺贈	95,380	64,479	30,901	9,785
・会費	152	128	24	16
2)民間機関からの寄付収入(MSF日本など全事務局の寄付収入を含む)	89,041	107,375	△ 18,334	9,135
・一般法人	35,052	41,887	△ 6,835	3,596
・信託・財団等	25,483	36,388	△ 10,905	2,614
・その他	28,506	29,100	△ 594	2,924
1)～2) 計	838,913	791,597	47,316	86,064
3)公的機関からの収入 ^(注2)	82,668	75,200	7,468	8,481
4)その他収入	16,065	18,744	△ 2,679	1,648
・利息収入および余資運用益	7,203	6,301	902	739
・設備売却および役務提供による収益	1,670	2,908	△ 1,238	171
・物品販売その他による収益	7,192	9,535	△ 2,343	738
経常収益 合計	937,646	885,541	52,105	96,193
II. 経常費用				
1)ソーシャル・ミッション	762,392	736,613	25,779	78,214
■ 援助活動費				
・人道援助プログラム支援費(MSF日本など全事務局からの支援金を含む)	619,396	609,819	9,577	63,544
・各事務局によるプログラム・サポート費	103,948	92,318	11,630	10,664
・その他の人道援助活動費	7,370	7,035	335	756
援助活動費 合計	730,714	709,172	21,542	74,964
■ 広報活動費	31,678	27,441	4,237	3,250
2)募金調達活動費	124,836	110,893	13,943	12,807
3)マネジメントおよび管理費	56,622	52,403	4,219	5,809
4)所得税	87	28	59	9
2)～4) 計	181,545	163,324	18,221	18,625
経常費用 合計	943,937	899,937	43,941	96,838
為替差損	△ 4,805	△ 1,614	△ 3,191	△ 493
差引当期正味財産増減	△ 11,096	△ 16,010	4,914	△ 1,138

(注1) 上掲の計算書は日本で監査を受けたものではない。

(注2) 公的機関には、欧州委員会人道支援事務局(ECHO)、およびベルギー、チェコ、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、スペイン、スウェーデン、および英国の各国政府等が含まれる。

(注3) 1ユーロ=102.59円にて換算。

支出内訳 (活動地におけるプログラムおよび調整チームの支出)



- アフリカ
- アジア
- 北米・中南米
- ヨーロッパ
- オセアニア
- 未配分

活動地域

国／地域	百万ユーロ (※※※)	国／地域	百万ユーロ (※※※)	国／地域	百万ユーロ (※※※)
アフリカ					
コンゴ民主共和国	72.8 (7,469)	アフガニスタン	16.5 (1,693)	ロシア	6.3 (646)
南スーダン	61.2 (6,297)	パキスタン	14.5 (1,488)	ウクライナ	2.4 (246)
ニジェール	26.2 (2,688)	イエメン	13.3 (1,364)	フランス	1.2 (123)
ソマリア	25.2 (2,593)	ミャンマー	13.0 (1,334)	その他*	1.2 (123)
ケニア	22.6 (2,318)	イラク	12.9 (1,323)	合計	11.1 (1,138)
スー丹	20.2 (2,072)	インド	10.9 (1,118)		
チャド	20.0 (2,052)	シリア	9.6 (985)		
エチオピア	19.2 (1,970)	ウズベキスタン	5.9 (605)		
ジンバブエ	19.0 (1,949)	レバノン	4.9 (503)		
ナイジェリア	18.8 (1,929)	バングラデシュ	3.7 (380)		
中央アフリカ共和国	18.5 (1,898)	パレスチナ	3.6 (369)		
ギニア	10.5 (1,077)	キルギスタン	3.1 (318)		
スワジ蘭	10.4 (1,067)	アルメニア	2.0 (205)		
マラウイ	9.8 (1,005)	カンボジア	1.8 (185)		
マリ	9.1 (934)	タジキスタン	1.3 (133)		
南アフリカ共和国	8.1 (831)	トルコ	1.2 (123)		
モザンビーク	7.6 (780)	その他*	4.9 (503)		
シエラレオネ	7.3 (749)	合計	123.1 (12,629)		
ウガンダ	6.4 (657)				
コートジボワール	4.1 (421)				
ブルンジ	4.1 (421)				
モーリタニア	4.0 (410)				
カムルーン	3.3 (339)				
コンゴ共和国	3.1 (318)				
ブルキナファソ	2.4 (246)				
ザンビア	2.0 (205)				
エジプト	1.5 (154)				
マダガスカル	1.2 (123)				
モロッコ	1.0 (103)				
その他*	2.6 (267)				
合計	422.2 (43,313)				

*「その他」は、プログラム支出が100万ユーロ(約1億259万円)以下の国をまとめている。

** ボリビアおよびパラグアイは共同プログラムにて運営されている。

*** 1ユーロ=102.59円換算(金額の十万円以下は四捨五入)

スタッフ数

	2012	2011
スタッフ派遣回数(年間)	5,955	6,376
医師	1,548	1,734
看護師・その他医療従事者	1,785	1,935
非医療従事者	2,622	2,707
スタッフ数 合計	34,146	33,944
現地ボスト数	31,820	31,882
現地採用スタッフ	29,228	29,302
外国人派遣スタッフ	2,592	2,580
事務局職員	2,326	2,062

皆さまのご支援、ありがとうございました

2013年、国境なき医師団(MSF)日本は、25万7035人の個人、1万869の企業・団体の皆さまよりご支援を頂き、世界各国でのMSFの医療・人道援助活動に資金を提供することができました。苦境に置かれた人びとに私たちが援助を届けることを可能にしてくださった皆さまのご厚意に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

特別協賛

モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所
エムシードゥコー株式会社

プロボノ

株式会社バス・コミュニケーションズ
ウイングアーク1st株式会社
グーグル株式会社
株式会社セールスフォース・ドットコム
マイクロソフト株式会社

財団・募金箱等

ピースフル・コンサート越谷 実行委員会
株式会社帝國ホテル
豊島岡女子学園中学校・高等学校

フィリピン台風緊急支援

ソフトバンクモバイル株式会社
株式会社電通
株式会社プロネクサス
全日本空輸株式会社

支援企業

株式会社保険見直し本舗
コネクシオ株式会社
株式会社シグマ
株式会社大和証券グループ本社
リンベル株式会社
大和証券株式会社
株式会社CHINTAI
三和商事株式会社
日本Integrative Rehabilitation協会
株式会社ジェーシービー
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
グーグル株式会社
lucifer research株式会社
フォーク株式会社
株式会社 名優
大和ハウス工業株式会社
ダイドードリンコ株式会社
ジャンボパーキング株式会社
株式会社エポスカード
新日本管財株式会社 互助会
株式会社メディカル・ステージ
株式会社リーガルコーポレーション
エムスリー株式会社
ブルーチップ株式会社
楽天カード株式会社
森永乳業株式会社(森乳スマイル倶楽部)
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
ヤフー株式会社
株式会社ジャックス
株式会社日産ファイナンシャルサービス
フォーレスト株式会社
株式会社日立インスファーマ
ケイヒングループ(京友会)
ソフトバンクモバイル株式会社
九段北シティ法律事務所

(以上、順不同)

個人支援者

赤澤 宏子 中村 晴美
安藤 鐘八郎 新田 綾子
飯尾 芳枝 根岸 芳乃
池田 嘉道 野中 一
池永 寿美子 林 葉子
石井 弓太郎 福井 啓介
井上 健治 福岡 顯
大原 貢子 福武 純子
大曲 伸拡 福田 二代
大八木 明 堀田 英子
小倉 博人 本坊 雄一
金子 安比古 牧野 順一
工藤 まち子 松下 哲子 (松下巖雄 相続人代表)
河野 通明 山崎 節子
佐藤 慶子 山本 和男
澤田 勝寛 山本 力
芝崎 恵次 湯浅 基子
鈴木 真理 結城 昭雄
高村 真人 葉 國璽
辻中 騒 横濱 桂子
富谷 弘 Pierre-Jacques Domenjoz
豊田 昭

(以上、敬称略・五十音順)
ほか25万人以上の皆さま

理 事 Board Members

会長 President	黒崎 伸子 Nobuko Kurosaki MD
副会長 Vice President	青池 望 Nozomi Aoké MD
副会長 Vice President	加藤 寛幸 Hiroyuki Kato MD
専務理事 Secretary General	安藤 恒平 Kohei Ando MD
会計役 Treasurer	フレデリック・ヴァラ Frédéric Vallat
	渥美 智晶 Tomoaki Atsumi MD
	須田 洋平 Yohel Suda
	キム・ナムニヨール Nam Ryeol Kim MD
	大谷 敬子 Keiko Otani

監 事 Controller

上柳 敏郎 Toshiro Ueyanagi
ジル・デルマス Gilles Delmas

事務局長 General Director

ジェレミイ・ボダン Jérémie Bodin
(2014年3月末現在)

国境なき医師団(MSF)日本は1992年に設立され、1997年にMSFの事務局の一つとして独立組織となりました。1999年に特定非営利活動法人(NPO法人)として東京都の認証を受け、2002年に認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)として国税庁の認定を受けました。2013年7月には、東京都から認定NPO法人として改めて認定を受けました。

活動をご支援ください

国境なき医師団の活動は、皆さまからの寄付で実現しています。
私たちと共に、命を救う力となってください。

寄付の申し込み
資料請求は
0120-999-199
(通話料無料 9:00~19:00 無休)
www.msf.or.jp



国境なき医師団日本は「認定NPO法人」として認定を受けています。
国境なき医師団日本への寄付は、所得税、法人税などの優遇措置の対象となります。